

事業所職員向け評価表 (OZぴいなかつFun)

評価期間：令和3年2月10日～令和3年2月20日
 評価人数：4名 評価回答人数：4名 回答・回収率：100%
 評価結果

評価項目	チェック項目	はい	どちらかといえばはい	いいえ	正誤しているか、誤謬や矛盾などがあるか
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4名中3名			無回答1名 指導訓練室のスペースが狭いことにより指導訓練の妨げが懸念されています。
	2 職員の配置が適切であるか	4名中2名	4名中1名		無回答1名 リハビリスタッフの配置が適切で今後対応していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	4名中3名			無回答1名 事業所内は完全にバリアフリー化しています。
	4 業務改善を進めるためのPOCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	4名中1名	4名中1名		無回答2名 現在POCAサイクルを実施していませんが今後業務に生かしていきたいと考えています。
	5 業務改善の進捗状況を把握する場としてアドヴァイザー会議を開催して業務改善の進捗を確認し業務改善につなげているか	4名中3名	4名中1名		無回答1名 今回の会議から業務改善の進捗を確認し、今後の業務改善につなげていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会議やホームページ等で公開しているか	4名中1名	4名中1名		無回答2名 今回のこの結果はご家族様へ3月1日以降公表します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4名中1名	4名中1名		無回答2名 毎月毎月2回よりアドバイザーが来所し業務改善について話し合いの場を設けています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4名中1名	4名中2名		無回答1名 研修の機会をオンライン研修が主であり研修の機会が確保されています。今後も研修の機会を増やしていきます。業務所内には研修実施状況や研修実施結果を報告しています。
適切な支援の状況	9 アドヴァイザーを適切に利用し、子どもと保護者のニーズや課題を把握し対応し、加齢やニーズの変化も把握しているか	4名中2名			無回答2名 利用者のニーズや課題を把握し対応し、加齢やニーズの変化も把握しているかを確認しています。その都度ご家族様に報告しています。
	10 子どもの適応行動の状態を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		4名中1名		無回答3名 標準化されたアセスメントツールはありますが今後検討していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4名中2名	4名中1名		無回答1名 活動プログラムは全て保護士が作成しているかを確認しています。
	12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4名中3名			無回答1名 固定化しないよう活動内容や活動場所での活動内容を変更しています。季節の固定化はありません。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4名中3名			無回答1名 課題を細かく設定はしてありますが、個別支援計画に沿って支援はしています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせたりサービス計画を作成しているか	4名中2名			無回答2名 個別支援計画によるものと併用しています。
	15 支援開始時には職員間で打ち合わせをし、その旨がわかる支援の計画や役割分担について確認しているか	4名中2名	4名中1名		無回答1名 毎日始業時業務打ち合わせ、振り返りの時間を設けて確認・共有はしています。
	16 業務終了後に職員間で打ち合わせをし、その旨がわかる支援の計画や役割分担について確認しているか	4名中1名	4名中2名		無回答1名 毎日始業時業務打ち合わせ、振り返りの時間を設けて確認・共有はしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4名中3名			無回答1名 業務終了後業務打ち合わせ、振り返りの時間を設けて確認・共有はしています。支援の検証・改善につなげています。
	18 定期的にモニタリングを行い、必要に応じてサービス計画の見直しが必要かを判断しているか	4名中1名			無回答3名 利用者の個別活動と定期的なモニタリングは実施しており情報共有ができています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせたり変更を行っているか	4名中1名			無回答3名 スタッフそれぞれ支援のガイドラインの認識はありますが、柔軟に対応する必要があります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児支援事業所のサービス担当者会議で子どもの状況や課題を話し合った結果もまわし合いが実施されているか	4名中2名			無回答2名 支援会議には児童発達支援管理責任者が出席しております。
	21 学校や関係機関（特別支援学級や特別支援学校、子ども支援機関の職員、保健師、社会福祉士、ケアマネジャー等）と連携しているか	4名中4名			無回答1名 学校送迎の際に口頭で情報共有しています。内容はその都度確認しています。
	22 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合に、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4名中4名			無回答1名 利用者の主治医、嘱託医との情報共有ができています。
	23 学校に併設している施設や地域、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で職員と対応確認が図られているか	4名中1名	4名中1名		無回答2名 就学時の情報は得ていません。必要時その都度検討します。
	24 学校を基とし、保護者（パパ・ママ）や関係機関（子ども支援機関）と連携し、サービス計画の作成や見直しを行っているか	4名中2名			無回答2名 利用者の直学や卒業時にはその都度関係機関と連携して対応はしています。
	25 児童発達支援センターや児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4名中1名	4名中1名		無回答2名 他機関の専門機関との連携は現在取っていません。今後必要時検討します。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか	4名中1名	4名中2名		無回答1名 児童クラブ等の子どもと交流する機会は今後もあります。今後必要時検討します。
	27 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか	4名中2名			無回答2名 様々な協議会への参加はすべてしてあります。
	28 自閉系子どもたちの状況や課題と伝え合い、子どもと保護者の状況や課題について共通理解を持っているか	4名中4名			無回答1名 自閉系子どもたちの状況や課題と伝え合い、子どもと保護者の状況や課題について共通理解を持っているかを確認しています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4名中2名	4名中1名		無回答1名 現在ペアレントトレーニング等はしていません。今後検討します。
保護者への説明責任等	30 運営規定・支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4名中2名			無回答2名 利用者ご家族様にはその都度負担等については説明してあります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に寄り添う機会を適切に設け、必要な助言と支援を行っているか	4名中3名			無回答1名 ご家族様からの悩み等に対しては個別対応はしていただいております。今後対応していきます。
	32 子育ての悩みや課題を支援したり保護者等を支援する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4名中4名		無回答1名 事業所独自の父兄の会は現在ありません。今後必要時検討します。
	33 子どもと保護者からの要望について、対応の体制を整えているか	4名中4名	4名中1名		無回答1名 苦情対応に関しては苦情対応の担当職員を決めております。苦情等あれば迅速・適切に対応いたします。
	34 定期的に会議等を開催し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもたちや保護者に対して発信しているか	4名中4名			無回答1名 毎月活動概要のFunFunというお便りを発行しています。各利用者の状況や課題も発信していただいております。
	35 個人情報に十分注意しているか	4名中4名			無回答1名 個人情報保護法に準拠して対応しております。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4名中4名			無回答1名 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮は、スタッフ全員が意識して対応しています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4名中1名	4名中1名		無回答2名 地域住民との交流は現在ありません。地域住民との交流は今後の目標として取り組んでいきます。
	38 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4名中4名			無回答1名 緊急時対応マニュアルは策定済みです。防災マニュアルは策定済みです。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要訓練を行っているか	4名中4名			無回答1名 訓練は毎月実施しています。火災・地震・水害・台風等の非常災害発生時の対応は、訓練を通じて実施しています。
非常時等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4名中2名	4名中2名		無回答1名 虐待防止のための研修機会を確保しています。
	41 どのような場合に子どもを身柄拘束を行うかについて、職員に周知し、子どもと保護者と関係機関に周知したうえで訓練やサービス計画に反映しているか	4名中4名			無回答1名 身柄拘束に関する研修は毎月実施しています。児童発達支援センターのある方の利用の際は、事前に児童発達支援センターと連携して対応しています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がとれているか	4名中1名	4名中1名	4名中2名	無回答1名 アレルギーのある子どもの対応は、医師の指示書に基づいて対応しています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4名中4名			無回答1名 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。

事業所職員の評価を集計した結果は以上です。
 評価結果からの改善点や今後の対応については以下の通りです。

- 環境・体制整備の項目について
 - 利用者のご家族様からリハビリの要望があるため今後はOT・PT・STのいずれかの方のスタッフの配置を予定しています。
- 業務改善の項目について
 - 業務終了前に毎日の振り返りや翌日の予定の確認をしています。そのことにより次の日の業務の円滑化につながっていると考えます。OZ本社からのアドバイザーが毎月訪問し業務に関するアドバイスやスタッフにアドバイスをくれています。そのことによりサービス向上と資質向上につながるよう努力しています。研修会については参加者が少ないので今後は始めていくようにします。
- 適切な支援の提供の項目について
 - 利用者様への適切な支援については常に職員の支援の提供を心がけています。利用者様の状況を考え、固定化しないプログラムにし成長発達支援につながるようサービス計画を立案し実施しています。今後も利用者様一人一人に適切な支援が出来るように詳細な計画のもとサービスをしていきます。
- 関係機関や保護者との連携の項目について
 - 関係機関との連携や情報共有については支援会議やサービス担当者会議で出来ていると考えます。また利用者の状態を主治医や福祉医から情報を頂く際にも参考にさせていただいております。支援学校や保護者様とは送迎時等リアルタイムな情報共有が出来ています。今後も同様に関係機関や保護者様と連携しサービス向上につながるようにします。
- 保護者への説明責任等の項目について
 - 保護者様への説明はその都度行うように心がけています。現在までに説明してはトラブルになるようなことはありません。利用目的の状況も日々の連絡にてお伝えしています。また毎月発行しているFunFunによりは利用者様だけのものとなり個人情報に注意しながら状況をお知らせしています。今後も保護者様へは様々な説明をその都度していくようにします。
- 非常時等の対応の項目について
 - 災害に対する避難訓練は毎月実施しています。火災・台風・洪水・地震等様々な状況を想定し訓練をしています。今後は不法侵入・不審者等の訓練も必要と考えています。虐待については研修等を活用し知識を得て防止に努めます。身体拘束についても使い方の研修が多くなり身体固定をする為に関所によるベルトが備え付けられておりその固定が身体拘束に当たる部分もあるのでご家族様に説明ご確認の上でベルト固定をさせていただきます。災害や虐待、身体拘束等の研修・勉強会を行います。スタッフそれぞれが認識不足とならないようにしていきます。ヒヤリハットについては積極的に報告をすることで未然に重大事故につながるようなようにしていきます。ヒヤリハット報告があった場合は早期に話し合いを持ち改善策・対策を考えたいです。今後は重大事故につながるような研修を持ち業務を行っていきます。

評価結果、対応策は以上です。